

生活単元学習指導案

学 級：あすなろ学級3年 2人
場 所：あすなろ学級 教室
指導者：教諭 下原 智子

1 単元名 高校進学に向けて

2 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元は、中学校卒業後の進路について具体的に調べたり、まとめたことを発表したりすることを通して、自分の進路に対する意識を更に高めることをねらって設定した。

自分の進路先について知ることは、現在の中学校生活を充実して過ごそうとする意欲にもつながると考える。また、希望する進路先である学校についてまとめたことを発表したり、相手に伝えたりする経験は、入学選考時の面接に役立つだけでなく、将来、自立し、社会生活を送る上でも大切であると考えられる。

(2) 生徒の実態

学習においては、文章を書いたり、人前で発表したりすることについて、二人とも苦手意識をもっている。特に生徒Bさんは、発表することに対する抵抗感が強い。また、言葉で考えたり、まとめることも苦手としており、生徒Aとの実態に差が見られる。しかし、二人とも、卒業後の進路について同じ学校への進学を希望し、お互いに自分の得意なことを生かしたり、励まし合ったりしながら、意欲的に学習に取り組んでいる。

生徒の実態	
A	<ul style="list-style-type: none">進学への意欲をもって学習に取り組んでいる。資料等を基に、文章にまとめることができる。緊張はするが、人前で発表することができる。慣れていない人や、予想していない質問に対しては、答えに迷うことがあるが、自分に関することについては、しっかりと答えることができる。細かい作業は苦手であるが、パソコン操作や機器の取り扱いが得意である。
B	<ul style="list-style-type: none">自分の学力に不安を感じ、進学に向けて時々消極的になることがある。資料を基に書き写すことはできるが、文章にまとめることが難しい。慣れていない人の前では、うまく表現できず、発表に戸惑うことがある。予想していない質問に対して、適切に答えられないことがあるが、自分に関することについては、概ね答えることができる。手先が器用で作業学習に対しては意欲的に取り組む。パソコン操作や機器の取り扱いも得意である。

(3) 指導上の留意点

指導に当たっては、進学希望の学校の概要について調べたり、まとめたりすることを通して、自分に関心をもつ事柄に気付かせ、これからの学習に意欲をもって取り組めるようにする。また、質問に対して答えることができるように、まず、自分のことについてワークシートにまとめる活動から取り組ませるようにする。そして、ワークシートを基にしながら、相手に伝える活動に繰り返し取り組み、

相手に伝えることができたという成功体験を味わわせることで、将来、出会う人たちにも恥ずかしがらずに、自分の考えや気持ちを伝えることができるようにしていきたい。

3 単元の学習目標

- 進学希望の学校について、ワークシートにまとめることができる。
- ワークシートを基に、発表することができる。
- 自分のことについて、相手に伝えることができる。

4 単元の指導計画

次	時	指導の流れ	言語活動 (☆)・ICT活用 (◎)
一	3	○ 進学を希望している学校の資料や体験学習を基に、学校の概要についてまとめさせる。	◎ 学校について、インターネットや学校紹介のパンフレットなどを使って調べさせる。 ☆ 調べたことを、分かりやすくまとめさせる。
	1	○ まとめたことについて、発表の練習をさせる。	☆ 声の大きさや速さなどに注意しながら発表させる。
二	1 本 時	○ まとめたことを発表させる。 ○ 自分の紹介について書かせる。 ○ 面接の練習をさせる。	◎ 書画カメラを使って発表させる。 ☆ ワークシートにまとめさせる。 ☆ 質問に適切に答えさせる。
三	2	○ 卒業に向けて必要なことについて話し合わせる。 ○ 卒業までの計画を立てさせる。 ○ 面接の練習をさせる。	☆ 相手の意見を聞きながら、自分の意見を伝えさせる。 ☆ ワークシートにまとめさせる。

5 本時の実際 (5 / 7)

(1) 学習目標

- まとめたことを、相手に伝わるように発表することができる。
- 自分についての質問に、適切に答えることができる。

(2) 個人目標

	目 標
A	○ まとめたことについて適切な声量、速さ、姿勢などに注意しながら、順序立てて発表することができる。 ○ 自分のことについてまとめ、相手の質問に適切に答えることができる。
B	○ 恥ずかしがらずに、自分のまとめたことを聞き手に分かるように発表することができる。 ○ 自分のことについてまとめることができ、また相手の質問に答えることができる。

(3) 展 開

(☆：言語活動, ◎：ICT活用)

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	備 考
導 入	5 分	1 前時までの学習を振りかえる。 2 学習課題を確認する。 鹿児島高等特別支援学校についてまとめたことを発表しよう。 自分のことを相手に分かるように伝えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習の写真を提示し、前時までの学習を思い出すことができるようにする。 黒板に掲示する。 	◎書画カメラ 目標黒板
展 開	40 分	3 鹿児島高等特別支援学校について調べたことを発表する。 (1) 学校までの道順, 時間等について確認する。 4 面接の練習をする。 (1) 自分のことについてまとめる。 (2) 質問に答える。 5 お互いのよかったところ, 工夫した方がよいところについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 声の大きさ, 速さ, 姿勢等について確認してから発表させる。(☆) 発表について質問があればさせる。(☆) 発表内容についてなかったことについて補足する。 地図を見ながら, 道順やバスの時刻等について確認させる。 書く内容について確認しながらワークシートに記入させる。 相手の方を向いてはっきり答えられるようにする。(☆) 発表の様子を動画で確認させる。 お互いのよさに気付かせる。 	◎書画カメラ 地図 時刻表 ワークシート ◎デジタルカメラ
終 末	5 分	6 学習について振り返る。 7 これからの学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のまとめたことを発表することができたか, また, 面接の中で質問に答えることができたかについて振り返らせる。 これから卒業までに取り組まなければならないことについて確認する。 	